

## 研修報告書 No.13

所 属： 東京大学医学部附属病院

氏 名： 友田 寛人

研修先： 田野病院

2022 年 12 月に高知県田野町の臼井会田野病院で地域医療研修をさせていただきましたので、ここに研修報告をさせていただきます。

田野病院は人口 2500 人程度の田野町において 103 床のベッドを有しており、田野町のみならず安芸医療圏全体から患者さんが集まる地域の中核病院です。特に東の室戸地区や山間部の馬路地区などには現在大きな病院がなく、中芸・東部地域を中心に広域の診療を一手に担っている現状がありました。救急病院としても安芸市以東では唯一の二次救急病院であり、常勤医 8 名・当直医 1 名という体制にもかかわらず安芸医療圏全体から時には 1 時間以上かけて患者さんが搬送されていました。一度患者さんをとると 2 台目の救急車に対応することは難しく、また安芸医療圏には三次救急機関が存在しないため、重症の患者さんはさらに陸路で 1 時間以上をかけて高知市内に搬送することになります。医師に限らず看護師・ケアマネ・ヘルパーなど医療スタッフや福祉に携わる人員も不足しており、実施できる検査も限られていることから、都会の高次医療機関と同等の医療・介護ケアを施すことは難しいと実感しました。患者さんの視点からしても、近くに専門医がいることは稀であり、長い時間をかけて通院するか、近場の非専門医による診療に頼るかの選択を迫られることが多くありました。

一方で、高知県の医療には東京などの都心部にはない強みも多くあると感じました。まず第一に、上級医の先生方は皆経験が豊富で、ご自身の専門に限らず総合診療のスキルを兼ね備えており、複数の専門を持っている先生も多くいらっしゃいました。また、看護師・薬剤師・理学/作業療法士など医療スタッフの方々も優れており、必要に応じて行動し、医師に方針を打診する自主性と判断力を兼ね備えていました。人手が不足しがちな医療現場においても各医師・医療スタッフが穴を埋めるべく考えて行動し、必要なスキルを身に付けることで現場を回すことができていると、強く実感しました。更には医療機関同士の連携も緊密であり、定期的な情報共有や患者さんの調整を行うことでそれぞれの医療機関が無理なくかつ効率よく診療をできる体制を築いていました。各医療機関が地域での役割を理解し責任感をもって取り組むため、都心部で問題となっている救急車のたらい回しのような現象もほぼ存在しませんでした。特に感銘を受けたのが安芸医療圏の二次救急病院と高知市内の三次救急病院の協力体制であり、県東部の重症患者を一旦二次救急病院が受け入れて適切な診断・トリアージや初期対応を行うことにより、現場から 1~2 時間離れた三次救急病院に搬送するまでバイタルサインを安定させ、患者さんを最善の状態に保ったまま搬送で

きるケースが見られました。

田野病院の地域研修においては、このように地域医療の実情や魅力を知ることができたことに加え、外来・地域のクリニックの見学や病棟診療の体験、リハ室・薬剤部・検査部など院内の各部署の見学と体験、デイサービスやヘルパー・ケアマネの仕事への同行など、様々な経験を積ませていただくことができました。これらの多くは学生時代や大学病院の研修生活においては経験することのできなかったことであり、将来的にも直接接する機会を得ることが難しい医療福祉関係の仕事について理解が深まったことは、大きな学びでした。

医学的な知識の面でも、外来では common diseases の診療や様々な手技を学ぶことができ、大学病院では経験する機会の少ない部分の知識やスキルを補うことができました。一方で、外来や各部門の見学が中心であり自身で外来診療を行う機会が少なかった点は少し残念ではありました。自身で外来診療、特に救急外来ではない一般外来診療を行う経験は大学病院ではなかなか積むことができず貴重なため、地域研修でこのような機会をもっと得られると大変ありがたいです。

また、今回の地域研修は数多くの課題を見つけることができた研修でもありました。田野病院の先生方のように外来の多種多様な患者さんの訴えを捌く技術の必要性、そして専門に捉われずどんな患者さんも診られる医師の重要性を痛感しました。多職種を理解し適切なタイミングで相談できること、および保険制度を理解し適切に社会資源を活用できることが患者さんのケアそしてアフターフォローにおいて大きな意味を持つことも実感しました。この1ヶ月で学べたことが多かった一方で、それと同じくらい今後に向けての課題が見つかり、将来目指すべき医師像について考えさせられる1ヶ月でした。

最後になりますが、お忙しい中、地域医療研修にご協力いただき温かく迎え入れてくださいました田野病院の先生方とスタッフの皆様、高知医療再生機構の皆様、地域の方々、そして全ての関係者の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。